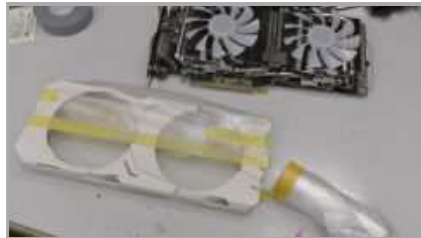


# グラフィックボードへの塗装方法

文 ● ASCII.jp

## (1) 色を塗らないところを「マスキング」



ここで使ったのはマスキングテープに、スーパーのお肉などを入れるビニールが付いた「タンカルコロナマスキング」というもの。大きな範囲は、このマスキングを使うとあっという間に処理できるのでオススメ

## (2) スプレーで塗装するときは缶を立てて持ち母材に対し真正面から塗る！

マスキングしたら、露出している部分に対してスプレーを真正面に向けて塗る。ちなみに母材との距離は20～30cm位離し、左右に振る速さは1秒10cmぐらいがいい。最低でも2度塗り、ベストは3度塗りして完成するペースで薄く、薄くスプレーすると、キレイに塗り分けできる。



何色かで塗り分ける場合は、薄い色から塗っていくのが鉄則。なぜならはみ出しちゃった部分を濃い色で塗りつぶせるから

だいたいイメージだと、1回目の塗りはスプレーした塗料が砂目模様（まだ半分は母材の色が見える）になる程度。2回目は母材の色がようやく消えるぐらい。んで3回目は、完全にスプレーの色になるって具合。

## (3) 塗料が乾ききったらマスキングを剥がす



乾燥したらマスキングテープを剥がす。生乾きだったりすると、部分的にペイントが剥がれたりするので、スプレー缶に明記されている時間をキッチリ守ること

## (4) さらに塗り分ける場合は同様にマスキングして塗り分ける



色を吹いたばかりのをマスキングする場合は、とくに乾きに注意。お勧めは塗料が完全に母材に食いつく翌日。今回のような金属の場合は、ドライヤーを当てて強制乾燥してもいい

### (5) はみ出した部分や細かい部分は面相筆で細かく修正

もしマスキングからはみ出しちゃった部分などがあったら、面相筆という細い筆でその部分を筆塗り修正。ただし修正は、塗料が完全に乾く翌日以降にすること。生乾きだと筆塗りすると下地の塗料が溶け出して、余計汚くなってしまうからだ。完全に乾くと、下地の塗料が溶ける前に、修正した塗料が乾燥するのできれいに治せるというわけ。



赤い帯はマスキングするまでもなかったの  
で、筆塗りでペイント

### (6) デカールをパソコンで作るとさらにワンランク上に！

パソコンで自由にデカールが作れる用紙が売られているので、コレを使ってデザインする。このとき、デジカメなどでグラボの写真撮って、スケールを調整。大きさなどは、写真を元に調整するといい。



使ったのはエーワンの「転写シール 白地タイプ」。オリジナルのデカールが作れる



レタッチソフトに実際のブツの写真を重ねて、デカールの大きさなどを決めていく



デカール印刷。これをペイントしてある青の帯に合体する



水をつけて転写。レタッチソフトで大きさはピッタリ！

**完成！**



さあ、みんなも塗装して自分だけのグラフィックボードを作り出そう！

作り方の詳細は「アスキー 痛VGA」で検索！

<http://ascii.jp/elem/000/001/537/1537415/>